

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | |
|--------------|--|------|--|-----|-------|
| 科目名 | 花と緑の商品知識Ⅱ | | 履修区分 | 必修 | 選択 |
| 受講対象 | 花き生産コース・グリーンコーディネートコース フラワーコーディネートコース・造園コース 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 見学 |
| 開講時期 | 2年次前期 | 時間数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 授業概要 | 花木、洋ラン、観葉植物等の栽培管理や販売に関する知識の学習。 | 到達目標 | 小売りの現場で求められる、お客様からの基礎的な質問等に答えられる知識の習得。 | | |
| 担当教員 | 大久保 茂徳 | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | 園芸会社での勤務経験、大型ガーデンセンターでの講習会講師の経験があり、植物に関する商品知識が豊富である。よって、小売りの現場で顧客へ説明することを想定し、実践的に指導することができる。 | | | | |
| テキスト・教材 | 鉢花ハンディ事典 春～夏編（NHK出版）、鉢花ハンディ事典 秋～早春編（NHK出版） | | | | |
| 成績評価方法 | 毎回の授業で扱う植物それぞれについて、フォーマットにまとめたものによって評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|-----------------|---|-------|----|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | 花木類 | 春の花木 | |
| 2 | 花木類 | 春の花木 | |
| 3 | 花木類 | 初夏の花木 | |
| 4 | 花木類 | 家庭果樹 | |
| 5 | 温室植物 | 洋ラン類 | |
| 6 | 温室植物 | 洋ラン類 | |
| 7 | 温室植物 | 観葉植物 | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 他教科との関連 園芸実習 | 欠席者に対するペナルティ 欠席時のフォーマットが未提出の場合には減点となる。また、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | | 備考 |

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | |
|--------------|---|------|--|-----|-------|
| 科目名 | 園芸実習Ⅱ | | 履修区分 | 必修 | 選択 |
| 受講対象 | 花き生産コース・野菜生産コース・グリーンコーディネートコース・造園コース 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 見学 |
| 開講時期 | 2年次前期 | 時間数 | 30 | 単位数 | 1 |
| 授業概要 | 植物栽培についての興味と関心を高めるとともに、適切な管理方法を学習する。 | 到達目標 | 圃場での時期に応じた管理方法を習得する。 | | |
| 担当教員 | 萩原 文雄 | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | 鉢花、花壇苗、洋ラン、切り花などの花き生産に20年以上従事し、幅広い植物の生産知識を持つ。よってコース問わず最低限知っておくべき基本的な栽培知識、技術を指導することができる。 | | | | |
| テキスト・教材 | | | | | |
| 成績評価方法 | 出席状況、授業態度を総合的に評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|---------|------|--|----|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | 圃場管理 | 各コースでの植物管理作業 | |
| 2 | 圃場管理 | 圃場での管理作業（花がら摘みや追肥等） | |
| 3 | 圃場管理 | 各コースごとでの植物管理作業 | |
| 4 | 圃場管理 | 圃場での管理作業（除草、花がら摘みや追肥等） | |
| 5 | 圃場管理 | 圃場での管理作業（花がら摘みや追肥等） | |
| 6 | 圃場管理 | 圃場での管理作業（除草等） | |
| 7 | 圃場管理 | 圃場での管理作業（花がら摘みや追肥等） | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 他教科との関連 | | 欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | 備考 |

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | |
|--------------|--|------|---|-----|-------|
| 科目名 | 造園施工Ⅱ | | 履修区分 | 必修 | 選択 |
| 受講対象 | 造園コース 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 見学 |
| 開講時期 | 2年次前・後期 | 時間数 | 180 | 単位数 | 6 |
| 授業概要 | 造園施工を行う上で知っておくべき基本知識・技術を講義および実習を通じて学ぶ。また、文花祭や卒業制作で各種作庭を行う。 | 到達目標 | 造園施工をする上で知っておくべき基本（木工・コンクリート工等）知識・技術を講義および実習を通じて習得し、それをもとに実際に各種作庭する力をつける。 | | |
| 担当教員 | 由比 誠一郎、細井 薫、布施 浩一 | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | （由比）本校卒業後、造園会社で修業、家業の造園会社を継ぎ、20年以上雑木・自然風の庭の計画・施工・管理に携わっているため、現場に即した実践的な指導ができる。（細井）20年以上花壇植栽・管理経験がある。（布施）通年25年ほどの現場経験があり、広く造園施工・管理の知識・技術を有する。よって、造園の基本知識を様々な側面から指導することができる。 | | | | |
| テキスト・教材 | 造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、各種関連プリント 等 | | | | |
| 成績評価方法 | 普段の授業の実習状況や各種課題で総合的に評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|---------|------------------------------------|---|----|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | 舗装工 | I. L. B準備工 | |
| 2 | 舗装工 | I. L. B準備工 | |
| 3 | 舗装工 | I. L. B準備工 | 半日 |
| 4 | 舗装工 | I. L. B敷設 | 半日 |
| 5 | 舗装工 | I. L. B敷設 | |
| 6 | 舗装工 | I. L. B敷設 | |
| 7 | 舗装工 | I. L. B敷設 | |
| 8 | 舗装工 | I. L. B敷設 | |
| 9 | 作庭 | 文花祭・卒業制作作品準備等 | |
| 10 | 作庭 | 文花祭・卒業制作作品準備等 | |
| 11 | 作庭 | 文花祭・卒業制作作品準備等 | |
| 12 | 作庭 | 文花祭・卒業制作作品準備等 | |
| 13 | 作庭準備 花壇植栽準備 | 文化祭作庭準備 秋・冬花壇植栽準備 | |
| 14 | 作庭 植栽 | 文化祭作庭準備・施工 秋・冬花壇植栽準備 | |
| 15 | 作庭 | 文化祭作庭準備・施工 秋・冬花壇植栽準備 | |
| 16 | 作庭 花壇植栽 | 文化祭作庭準備・施工 樹木・芝生・花植栽管理 | |
| 17 | 作庭準備 | 卒業制作作品 | |
| 18 | 作庭 | 卒業制作作品 | |
| 19 | 作庭 | 卒業制作作品 | |
| 20 | 作庭 | 卒業制作作品準備・施工 | |
| 21 | 作庭 | 卒業制作作品準備・施工 | |
| 22 | 作庭 | 卒業制作作品準備・施工 | |
| 23 | 作庭 | 卒業制作作品準備・施工 | |
| 24 | 作庭 | 卒業制作作品準備・施工 | |
| 25 | 後期定期試験 | | |
| 26 | 作庭 | 卒業制作作品準備・施工 | |
| 27 | | | |
| 28 | | | |
| 29 | | | |
| 30 | | | |
| 他教科との関連 | 造園設計、造園管理Ⅰ・Ⅱ、樹木学Ⅰ・Ⅱ、造園材料、環境緑化、課題学習 | 欠席者に対するペナルティ 実習においては授業内で実習課題。 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | 備考 |

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | |
|--------------|--|------|--|-----|-------|
| 科目名 | 造園管理Ⅱ | | 履修区分 | 必修 | 選択 |
| 受講対象 | 造園コース 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 見学 |
| 開講時期 | 2年次前・後期 | 時間数 | 180 | 単位数 | 6 |
| 授業概要 | 造園管理を行う上で知っておくべき基本知識・技術を講義および実習を通じて学ぶ。 | 到達目標 | 造園管理をする上で知っておくべき基本（樹木剪定、植栽・芝管理等）知識・技術を講義および実習を通じて習得する。 | | |
| 担当教員 | 由比 誠一郎、山田 祐司、細井 薫、布施 浩一 | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | （由比）本校卒業後、造園会社で修業、家業の造園会社を継ぎ、20年以上雑木・自然風の庭の計画・施工・管理に携わっているため、現場に即した実践的な指導ができる。（山田）本校卒業後、造園会社で修業後独立して、長年庭の計画・施工・管理に携わる。現在（一社）日本庭園協会埼玉支部支部長。（細井）20年以上花壇植栽・管理経験がある。（布施）通年25年ほどの現場経験があり、広く造園施工・管理の知識・技術を有する。よって、造園の基本知識を様々な側面から指導することができる。 | | | | |
| テキスト・教材 | 造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、各種関連プリント 等 | | | | |
| 成績評価方法 | 普段の授業の実習状況や各種課題で総合的に評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|---------|-------------------------------|---|----------|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | 植栽管理 | 樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等 | 半日 |
| 2 | 芝管理 | 芝生論・芝地状態観察、芝管理 | 半日 |
| 3 | 植栽管理 | 樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等 | |
| 4 | 植栽管理 | 樹木剪定・伐採等 | |
| 5 | 植栽管理 | 樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等 | 半日 |
| 6 | 植栽管理 | 樹木剪定・伐採等 | 半日 |
| 7 | 植栽管理 | 樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等 | 半日 |
| 8 | 植栽管理 | 樹木剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等 | |
| 9 | 植栽管理 | 樹木剪定・花壇、バラ管理・芝管理・薬剤散布等 | |
| 10 | 定期試験 | 前期定期試験 | |
| 11 | 樹木・花壇・芝管理 | 剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等 | 由比・細井・布施 |
| 12 | 樹木・花壇・芝管理 | 剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等 | 由比・細井・布施 |
| 13 | 樹木・花壇・芝管理 | 剪定・花壇管理・芝管理・薬剤散布等 | 由比・細井・布施 |
| 14 | 特別合同授業 | （一社）日本庭園協会埼玉支部との特別合同授業 | 山田・布施 |
| 15 | 雑木管理 | 雑木の剪定 | 由比・布施 |
| 16 | 雑木管理 | 雑木の剪定 | 由比・布施 |
| 17 | 雑木管理 | 雑木の剪定 | 雑木の剪定 |
| 18 | | | |
| 19 | | | |
| 20 | | | |
| 21 | | | |
| 22 | | | |
| 23 | | | |
| 24 | | | |
| 25 | | | |
| 26 | | | |
| 27 | | | |
| 28 | | | |
| 29 | | | |
| 30 | | | |
| 他教科との関連 | 造園設計、造園施工Ⅰ・Ⅱ、環境緑化、樹木学Ⅰ・Ⅱ、課題学習 | 欠席者に対するペナルティ 実習においては授業内で実習課題。 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | 備考 |

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | | |
|--------------|---|------|---|----|-----|----|
| 科目名 | 樹木学Ⅱ | | 履修区分 | 必修 | 選択 | |
| 受講対象 | 造園コース 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 | 見学 |
| 開講時期 | 2年次前期 | 時間数 | 30 | | 単位数 | 1 |
| 授業概要 | 造園業に携わる上で必要と思われる主要樹木について、講義および実習農場および公園での観察を通じて学ぶ。国家検定造園技能士（2級）の樹木判断等試験対策も兼ねる。 | 到達目標 | 樹木の分類と特徴の理解。 造園技能士（2級以上）の対策。 基本知識・技術を講義および実習を通じて習得する。 | | | |
| 担当教員 | 福島 公男 | | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | 造園会社での勤務経験があり、国営公園等の計画・管理に携わる。樹木医でもあり、樹木に関する知識や管理経験が豊富なことから、経験に基づき実質的な樹木解説が可能である。 | | | | | |
| テキスト・教材 | フィールドガイド23 葉で見分ける樹木（小学館）、造園施工必携・造園実技作業の手引き（1,2級）・造園技能検定学科試験問題集（3冊いずれも（一社）日本造園組合連合会） | | | | | |
| 成績評価方法 | 普通の授業の実習状況や模擬試験で総合的に評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|---|-------|--|----|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | 造園概論 | 造園・樹木の基本（概論の理解）、圃場実習 | |
| 2 | 葉の各論 | 針葉郡細論（分類ごとの習得）、圃場実習 | |
| 3 | 葉の各論 | 常広細論（分類ごとの習得）、圃場実習 | |
| 4 | 葉の各論 | 落広細論（分類ごとの習得）、圃場実習 | |
| 5 | 屋外実習 | 実地研修（知識の応用） | |
| 6 | 理解度確認 | 模擬テスト（技能士要素試験対策） | |
| 7 | 樹木総論 | 幹・枝、花・果実等（知識の拡充）、圃場実習 | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 他教科との関連 造園管理Ⅰ・Ⅱ、課題学習、フィールドワーク、（資格取得）造園 | | 欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | 備考 |

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | | |
|--------------|---|------|---|-----|----|----|
| 科目名 | 造園設計 | | 履修区分 | 必修 | 選択 | |
| 受講対象 | 造園コース 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 | 見学 |
| 開講時期 | 2年次前期 | 時間数 | 60 | 単位数 | 2 | |
| 授業概要 | ショウガーデンや公共緑化空間（公園等）の考え方の基本を学び、イベントガーデン（文花祭・卒業制作）および公園設計を体験する。さらに庭園図面や公共管理作業をもとに積算・見積の基本を学ぶ。 | 到達目標 | 1年次の設計の基本をふまえた、より現実的で魅せる計画力の習得。また様々な計画・設計（見積含む）を経験する。さらに関連する各種緑化イベント・施設の見学を通じ、設計の参考とする。 | | | |
| 担当教員 | 山下 利隆、細井 薫 | | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | （山下）造園会社で常務取締役を務め、1級施工管理技士である。長年計画・施工・管理に携わる。よって様々なスタイルの造園設計を指導することができる。（細井）20年以上の花壇植栽・管理経験と10年以上国内外のショウガーデンへの出展および出展指導・受賞経験あり。 | | | | | |
| テキスト・教材 | 造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、造園図面の表現と描法Ⅰ（誠文堂新光社）、建設物価（（一財）建設物価調査会）、造園修景積算マニュアル、プリント、製図道具一式、計算機 等 | | | | | |
| 成績評価方法 | 普段の授業の実習状況や見学レポート・見積・設計等課題で総合的に評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|------------------------------|--------------|---|-------|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | イベント・ショウガーデン | イベント・ショウガーデンの基本的な考え方、計画（母の日・文花祭・卒業制作計画等） | 細井 |
| 2 | 公園概論 | 公共緑化空間の考え方 | 細井 |
| 3 | 積算・見積① | 積算の基本、関連資料の見方・使い方説明 庭園・公共管理積算・見積演習① | 山下・細井 |
| 4 | 公園設計① | 街区公園設計演習① | 山下・細井 |
| 5 | 積算・見積② | 庭園・公共管理積算・見積演習② | 山下・細井 |
| 6 | 公園設計② | 街区公園設計演習② | 山下・細井 |
| 7 | 積算・見積③ | 庭園・公共管理積算・見積演習③ | 山下・細井 |
| 8 | 公園設計③ | 街区公園設計演習③ | 山下・細井 |
| 9 | 積算・見積④ | 庭園・公共管理積算・見積演習④ | 山下・細井 |
| 10 | 公園設計④ | 街区公園設計演習④ | 山下・細井 |
| 11 | 積算・公園設計⑤ | 庭園・公共管理積算・見積演習・公園設計⑤ | 山下・細井 |
| 12 | 積算・見積⑥ | 庭園・公共管理積算・見積演習⑥ | 山下・細井 |
| 13 | 公園設計⑥ | 街区公園設計演習⑥ | 山下・細井 |
| 14 | 積算・見積⑦ | 庭園・公共管理積算・見積演習⑦ | 山下・細井 |
| 15 | 公園設計⑦ | 街区公園設計演習⑦ | 山下・細井 |
| 他教科との関連 課題学習、造園施工Ⅰ・Ⅱ、環境緑化 | | 欠席者に対するペナルティ 見学については代替見学およびレポート、演習においては各種課題の作成・提出。また、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | 備考 |

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | |
|--------------|---|------|--|-----|-------|
| 科目名 | 造園材料 | | 履修区分 | 必修 | 選択 |
| 受講対象 | 造園コース 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 見学 |
| 開講時期 | 2年次後期 | 時間数 | 60 | 単位数 | 2 |
| 授業概要 | 造園設計・施工・管理を行う上で知っておくべき造園材料の基本知識や取扱いについての技術を学ぶ。 | 到達目標 | 造園設計・施工・管理をする上で知っておくべき基本知識や取扱い技術を習得する。 | | |
| 担当教員 | 菅 太郎、細井 薫、布施 浩一 | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | <small>（菅）造園会社や植物卸売会社での勤務を経て、造園管理会社を設立。個人庭園・マンション外構・屋上緑化などの都市緑化の設計・施工・管理や植物材料の卸業務やガーデンショウへの出店責任者など、業界で20年以上幅広く経験を積んでおり、豊富な知識と経験で、現代の都市緑化・エクステリア関連の動向を指導できる。（細井）10年以上国内外のショウガーデンへの出展および出展指導・受賞経験と20年以上の花壇植栽・管理経験がある。（布施）通年25年ほどの現場経験があり、広く造園施工・管理の知識・技術を有する。よって、造園の基本知識を様々な側面から指導することができる。</small> | | | | |
| テキスト・教材 | 造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、各種関連プリント 等 | | | | |
| 成績評価方法 | 普通の授業の実習状況や各種課題で評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|---------------------------------------|------------------------|---|---------|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | 宿根草、新樹種 | 宿根草、新樹種について | 菅 |
| 2 | 植物材料取扱い | 文花祭（施工・販売植物）仕入れ・植栽・管理 | 細井、布施 |
| 3 | 植物材料取扱い | 文花祭（施工・販売植物）仕入れ・植栽・管理 | 細井、布施 |
| 4 | 植物材料取扱い | 文花祭（施工・販売植物）仕入れ・植栽・管理 | 細井、布施 |
| 5 | 植物材料取扱い | 文花祭（施工・販売植物）片付け・在庫管理 | 細井、布施 |
| 6 | ガーデン・エクステリア見学 | ガーデン・エクステリア見学 | 菅、細井、布施 |
| 7 | 石材・コンクリート・木材・竹材・塗料等取扱い | ハード面（植物以外）での諸材料の基本知識と取扱い | 布施 |
| 8 | 石材・コンクリート・木材・竹材・塗料等取扱い | ハード面（植物以外）での諸材料の基本知識と取扱い | 布施 |
| 9 | 石材・コンクリート・木材・竹材・塗料等取扱い | ハード面（植物以外）での諸材料の基本知識と取扱い | 布施 |
| 10 | 石材・コンクリート・木材・竹材・塗料等取扱い | ハード面（植物以外）での諸材料の基本知識と取扱い | 布施 |
| 11 | 石材・コンクリート・木材・竹材・塗料等取扱い | ハード面（植物以外）での諸材料の基本知識と取扱い | 布施 |
| 12 | 各種材料取扱い | 卒業制作 作庭・管理に必要な各種材料の総合的な取扱い | 布施、細井 |
| 13 | 各種材料取扱い | 卒業制作 作庭・管理に必要な各種材料の総合的な取扱い | 布施、細井 |
| 14 | 各種材料取扱い | 卒業制作 作庭・管理に必要な各種材料の総合的な取扱い | 布施、細井 |
| 15 | 各種材料取扱い | 卒業制作 作庭・管理に必要な各種材料の総合的な取扱い | 布施、細井 |
| 他教科との関連 | | 欠席者に対するペナルティ | 備考 |
| 造園設計、造園施工Ⅰ・Ⅱ、造園管理Ⅰ・Ⅱ、環境緑化、樹木学Ⅰ・Ⅱ、課題学習 | | 実習においては授業内で実習課題。出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | |

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | |
|--------------|---|------|---|-----|-------|
| 科目名 | 環境緑化 | | 履修区分 | 必修 | 選択 |
| 受講対象 | 造園コース 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 見学 |
| 開講時期 | 2年次前期 | 時間数 | 45 | 単位数 | 1.5 |
| 授業概要 | 公共緑化空間の把握 特殊空間緑化（屋上緑化・壁面緑化・ 室内緑化）の基礎 緑化環境を維持する樹木医概論 | 到達目標 | 現代の環境緑化の一つである屋上・壁面・室内といった特殊空間緑化の基礎知識を習得する。また緑化環境を維持する樹木医の仕事を知る。 | | |
| 担当教員 | 梶川 昭則、前田 正明、平井 孝幸、上田 卓聖 | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | （梶川および前田）ともに樹木医であり、大手都市緑化企業である東邦レオ株式会社で長年樹木調査や特殊空間緑化に携わっているため、現場に即した実践的な授業ができる。（平井）（有）石正園代表で、主に個人住宅庭園、雑木の庭を手掛ける。（上田）（株）藤森工務店代表であり、数寄屋建築・茶庭を手掛ける | | | | |
| テキスト・教材 | 造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、造園修景積算マニュアル、建設物価、プリント、電卓 等 | | | | |
| 成績評価方法 | 普段の授業受講状況と課題で総合的に評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|-------------------------------------|--------------|--|-------|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | 特殊空間緑化 | 屋上緑化の基礎知識 | 梶川・前田 |
| 2 | 特殊空間緑化 | 壁面緑化・室内緑化の基礎知識 | 梶川・前田 |
| 3 | 庭園見学 | （有）石正園平井氏作品見学 | 平井 |
| 4 | 樹木医概論 | 資格取得と樹木医の仕事／病害虫と農薬 | 梶川・前田 |
| 5 | 樹木医概論 | 樹木診断とカルテ、土壌診断 | 梶川・前田 |
| 6 | 日本建築・車室・茶庭見学 | 日本建築・車室・茶庭見学 | 上田 |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 他教科との関連 造園施工 I・II、造園管理 I・II、課題学習 | | 欠席者に対するペナルティ レポート課題。 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | 備考 |

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | | |
|--------------|---|------|---|-----|-----|----|
| 科目名 | フィールドワーク | | 履修区分 | 必修 | 選択 | |
| 受講対象 | 造園コース 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 | 見学 |
| 開講時期 | 2年次前・後期 | 時間数 | 45 | 単位数 | 1.5 | |
| 授業概要 | 公園視察を通じて、公共緑地のあり方について学ぶ。 また自然観察を通じて生態系や環境に関する基本知識を学ぶ。 | 到達目標 | 公園視察を通じて、公共緑地のあり方についての基本的な考え方を習得する。 また自然観察を通じて生態系や環境に関する基本知識を習得する。 | | | |
| 担当教員 | 高橋 康夫、大久保 茂徳 | | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | （高橋）元東京都勤務で都立公園などの設計・監督・管理を通じて都立文化財庭園の保存管理計画に携わる。都退職後、神代植物公園で園長や日比谷公園緑と水の市民カレッジの事務局長を務める。2022年現在（一社）日本庭園協会会長。（大久保）（公財）埼玉県生態系保護協会会員として、数多くの自然観察会リーダーを務める。また、国営武蔵丘陵森林公園都市緑化植物園の調査研究係にて自然資源調査を担当していた経験を活かし、里山の自然資源と造園との関連を中心としたフィールドワークを指導できる。 | | | | | |
| テキスト・教材 | フィールドガイド23 葉で見分ける樹木（小学館） 等 | | | | | |
| 成績評価方法 | 普段の授業の実習・演習状況やレポート課題で総合的に評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|-------------------------|--------------|---|----------|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | 公園・庭園見学 | 日比谷公園等実地見学（終日） | 高橋・細井・布施 |
| 2 | 初夏の雑木林 | 北本自然観察公園（終日） | 大久保・布施 |
| 3 | 夏の雑木林 | 国営武蔵丘陵森林公園（終日） | 大久保・布施 |
| 4 | 公園・庭園見学 | 代々木公園・明治神宮等実地見学（終日） | 高橋・細井・布施 |
| 5 | 秋の草地・平地林・雑木林 | 北本自然観察公園・荒川大麻生公園等（終日） | 大久保・布施 |
| 6 | 冬の草地・平地林・雑木林 | 北本自然観察公園・荒川大麻生公園等（終日） | 大久保・布施 |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 他教科との関連 造園管理Ⅰ・Ⅱ、課題学習 | | 欠席者に対するペナルティ 代替見学およびレポート課題。 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | 備考 |

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | | |
|--------------|--|------|---|----|-----|----|
| 科目名 | 測量 | | 履修区分 | 必修 | 選択 | |
| 受講対象 | 造園コース 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 | 見学 |
| 開講時期 | 2年次前期 | 時間数 | 60 | | 単位数 | 2 |
| 授業概要 | 造園設計・施工をする上で知っておくべき測量の基本を学ぶ。 | 到達目標 | 造園工事の現場で必要とされる、測量の基本的な知識と技術を習得することを目標とする。現場測量の助手ができる程度の技術・知識を身につける。 | | | |
| 担当教員 | 鈴木 常美 | | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | 長年個人庭および公園等の公共事業に携わり、公共緑化空間の設計・施工・管理の実務に長けている。よって、実際に造園設計・施工を行う上で必要な測量の知識、技術を指導することができる。 | | | | | |
| テキスト・教材 | 各種関連プリント、造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会） 巻尺、電卓（√）、平板測量器材一式、レベル、ポール、野帳、垂木、貫板、釘、水系 | | | | | |
| 成績評価方法 | 普段の授業の実習状況や各種測量演習課題で総合的に評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|------------------------------|-------------|---|----|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | 測量の基礎、面積計算 | 距離測量、面積計算（巻尺測量、ヘロンの公式） | |
| 2 | 面積計算 | 面積計算（ヘロンの公式） | |
| 3 | 平板測量 1 | 平板測量の基本、測定、面積計算、 | |
| 4 | 平板測量 2 | 平板測量の基本、測定、面積計算、 | |
| 5 | 水準測量（レベル） 1 | 水準規量の基本、据付方法（レベルの据付、測定） | |
| 6 | 水準測量（レベル） 2 | 平板測量の基本、測定方法、野帳記入 | |
| 7 | 水準測量（レベル） 3 | 水準測量の基本、測定方法、野帳記入 | |
| 8 | トランシット測量 1 | 多角測量、トランシットの基本（トランシットの据付、野帳記入、計算） | |
| 9 | トランシット測量 2 | 多角測量、トランシットの基本（トランシットの据付、野帳記入、計算） | |
| 10 | トランシット測量 3 | 多角測量、トランシットの基本（トランシットの据付、野帳記入、計算） | |
| 11 | 丁張 1 | 丁張の基礎（丁張掛け、構造物 1） | |
| 12 | 丁張 2 | 丁張の基礎（丁張掛け、構造物 2） | |
| 13 | 丁張 3 | 丁張の基礎（丁張掛け、構造物 3） | |
| 14 | 実力試験 | レベル・トランシット（測定及び計算） | |
| 15 | | | |
| 他教科との関連 造園設計、造園施工Ⅰ・Ⅱ、課題学習 | | 欠席者に対するペナルティ 演習においては授業内で演習課題。出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | 備考 |

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | | |
|--------------|--|------|--|-----|----|----|
| 科目名 | 課題学習 | | 履修区分 | 必修 | 選択 | |
| 受講対象 | 造園コース 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 | 見学 |
| 開講時期 | 2年次前・後期 | 時間数 | 120 | 単位数 | 4 | |
| 授業概要 | それぞれ進路に応じテーマを設定し研究したものをまとめる。また今まで学んできたことをもとに、集大成として作庭やテーマ展示を行い、作り上げた作品の維持・管理までを行う。 | 到達目標 | 造園に関連してそれぞれ進路に応じテーマを設定し研究したものをまとめる。また今まで学んできたことをもとに、集大成として作庭やテーマ展示を行うことで、自己の専門性を高め、プレゼンテーション能力や実践力を習得する。 | | | |
| 担当教員 | 細井 薫、布施 浩一 | | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | （細井）20年以上の花壇植栽・管理経験と業界との交流により、造園に関わる幅広い知識を有する。（布施）通年25年ほどの現場経験があり、広く造園施工・管理の知識・技術を有する。よって、造園の基本知識を様々な側面から指導することができる。 | | | | | |
| テキスト・教材 | 造園施工必携（（一社）日本造園組合連合会）、造園図面の表現と描法（誠文堂新光社）I、積算物価（（一財）建設物価調査会）、造園修景積算マニュアル、プリント、製図道具一式、計算機 等 | | | | | |
| 成績評価方法 | 普段の授業の実習状況や見学レポート・卒業研究課題で総合的に評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|---------|----------------------------------|---|----|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | 卒業研究ガイダンス、個人面談 | 課題学習（卒業研究）の考え方・テーマ選び・資料集め | |
| 2 | 卒業研究 | 資料集め、研究方法の検討 | |
| 3 | 卒業研究 | 個別指導・進行状況の確認 | |
| 4 | 卒業研究 | 個別指導・進行状況の確認 | |
| 5 | 卒業研究 | 個別指導・進行状況の確認 | |
| 6 | 卒業研究 | 個別指導・進行状況の確認 | |
| 7 | 卒業研究 | 個別指導・進行状況の確認 | |
| 8 | 卒業研究 | 個別指導・進行状況の確認 | |
| 9 | 卒業研究 | 個別指導・進行状況の確認 | |
| 10 | 卒業研究 | 個別指導・進行状況の確認 | |
| 11 | 卒業研究 | 個別指導・進行状況の確認 | |
| 12 | 卒業研究 | 個別指導・進行状況の確認 | |
| 13 | 卒業研究 | 個別指導・進行状況の確認 | |
| 14 | 卒業研究 | 個別指導・進行状況の確認・中間報告 | |
| 15 | 卒業研究 課題作庭・テーマ展示 | 進行状況の確認・個別指導 文花祭計画・準備 | |
| 16 | 卒業研究 課題作庭・テーマ展示 | 進行状況の確認・個別指導 文花祭計画・準備 | |
| 17 | 卒業研究 課題作庭・テーマ展示 | 進行状況の確認・個別指導 文花祭準備 | |
| 18 | 卒業研究 課題作庭・テーマ展示 | 進行状況の確認・個別指導 文花祭準備 | |
| 19 | 課題作庭・テーマ展示 | 文花祭片付け | |
| 20 | 課題作庭・テーマ展示 | 卒業制作計画 | |
| 21 | 卒業研究（植栽管理） | 進行状況の確認・個別指導（植栽管理） | |
| 22 | 卒業研究（植栽管理） | 進行状況の確認・個別指導（植栽管理） | |
| 23 | 卒業研究（植栽管理） | 進行状況の確認・個別指導（植栽管理） | |
| 24 | 卒業研究（植栽管理） | 進行状況の確認・個別指導（植栽管理） | |
| 25 | 卒業研究 | 仮提出 | |
| 26 | 卒業研究 | 修正・仕上げ | |
| 27 | 卒業研究 | 最終提出 | |
| 28 | 課題作庭・テーマ展示 | 卒業制作準備 | |
| 29 | 課題作庭・テーマ展示 | 卒業制作準備 | |
| 30 | | | |
| 他教科との関連 | 造園設計、造園施工Ⅰ・Ⅱ、造園管理Ⅰ・Ⅱ、樹木学Ⅰ・Ⅱ、環境緑化 | 欠席者に対するペナルティ 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | 備考 |

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | | |
|--------------|--|------|--|------|-----|----|
| 科目名 | インターンシップ | | | 履修区分 | 必修 | 選択 |
| 受講対象 | 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 | 見学 |
| 開講時期 | 2年次前期または後期 | 時間数 | 60 | | 単位数 | 2 |
| 授業概要 | 外部企業において実際に現場を経験し、自身の現在の実力を理解するとともに企業担当者からも評価してもらうことで、今後の学習目標を定める。また、就職活動においても役立つ。 | 到達目標 | 自分の希望している企業（職種）での業務において、必要な知識と技術を理解するとともに、今後の学習目標を定める。 | | | |
| 担当教員 | 外部企業 | | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | | | | | | |
| テキスト・教材 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 考課表および実習報告書にもとづいて総合的に評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|---------|------|---|----|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | 企業研修 | 6～12日間程度外部企業で研修を行う | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 他教科との関連 | | 欠席者に対するペナルティ 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | 備考 |

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | | |
|--------------|--|------|--|------|-----|-----|
| 科目名 | 管理実習 | | | 履修区分 | 必修 | 選択 |
| 受講対象 | 造園コース 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 | 見学 |
| 開講時期 | 2年次前・後期 | 時間数 | 45 | | 単位数 | 1.5 |
| 授業概要 | 造園圃場の管理を通して植物の適正な管理方法について学ぶ。 | 到達目標 | 様々な植物に対する管理方法を身に付ける。 | | | |
| 担当教員 | 細井 薫、布施 浩一 | | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | （細井）20年以上花壇植栽・管理経験あり。（布施）通年25年ほどの現場経験があり、広く造園施工・管理の知識・技術を有するため、現場に即した実践的な指導ができる。 | | | | | |
| テキスト・教材 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 出席状況、実習態度を総合的に評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|---------|------------|---|----|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | 造園圃場等の管理実習 | 長期休業期間中に校内で管理実習を行う | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 他教科との関連 | | 欠席者に対するペナルティ 欠席時数分は他の日程で代講する。出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | 備考 |

2022年度 シラバス（授業細目表）

| | | | | | | |
|--------------|---|------|--|------|-----|----|
| 科目名 | 校内行事 | | | 履修区分 | 必修 | 選択 |
| 受講対象 | 造園コース 2年生 | 授業形態 | 講義 | 実習 | 演習 | 見学 |
| 開講時期 | 2年次前・後期 | 時間数 | 120 | | 単位数 | 4 |
| 授業概要 | 様々な校外行事に参加し、主体性、協調性、作業の計画性など、就職してからも活かせるような知識や技術を身につける。 | 到達目標 | 様々な校内行事を通して、主体性、協調性、計画性などを身につける。 | | | |
| 担当教員 | 細井 薫、布施 浩一 | | | | | |
| 実務経験と授業との関わり | | | | | | |
| テキスト・教材 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 出席状況や各行事への取り組む姿勢、レポート等を総合的に評価する。 | 認定基準 | 出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。 | | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|---------|--------------|---|----|
| 回 | 指導項目 | 指導内容 | 備考 |
| 1 | 新年度オリエンテーション | ガイダンス、健康診断、国家検定申込み | |
| 2 | 新年度オリエンテーション | 防火・防災訓練 | |
| 3 | 文化祭準備 | 文化祭に向けた準備 | |
| 4 | 文化祭準備 | 文化祭に向けた準備 | |
| 5 | 文化祭準備 | 文化祭に向けた準備 | |
| 6 | 文化祭準備 | 文化祭に向けた準備 | |
| 7 | 文化祭準備 | 文化祭に向けた準備 | |
| 8 | 文化祭準備 | 文化祭に向けた準備 | |
| 9 | 文化祭準備 | 文化祭に向けた準備 | |
| 10 | 文化祭 | 展示／販売／体験教室等 | |
| 11 | 文化祭 | 展示／販売／体験教室等 | |
| 12 | 文化祭 片付け | 文化祭の片付け | |
| 13 | 卒業・進級作品展準備 | 展示等の準備 | |
| 14 | 卒業・進級作品展 | 展示等 | |
| 15 | 卒業・進級作品展 片付け | 卒業・進級作品展の片付け | |
| 他教科との関連 | | 欠席者に対するペナルティ 欠席時数分は他の日程で代講する。出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。 | 備考 |